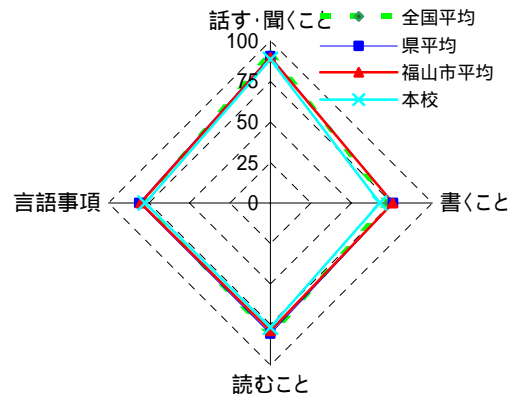


国 語

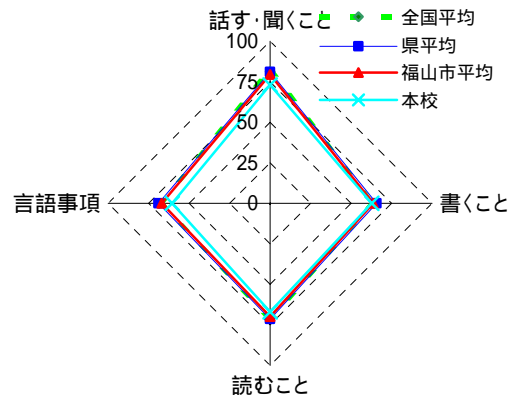
全国学力・学習状況調査正答率（A問題）

全国平均	81.6 %	県平均	82.4 %
福山市平均	81.6 %	学校平均	78.6 %



全国学力・学習状況調査正答率（B問題）

全国平均	72.0 %	県平均	72.0 %
福山市平均	71.0 %	学校平均	68.0 %



全国学力・学習状況調査に関する校内研修の内容

夏季研修において、全職員で調査問題（国語）を考察し、出題傾向を把握した。

本校における国語科の課題と今後の取組みについて、校内研修を受けて教科部会で協議した。

市教研，教職員研修等で他校と交流していく。

重点課題（：全国学力・学習状況調査）

本校の正答率はA，Bとも国・県・市を下回っており，特に「B」の活用についての力が不足している。

- ・・・手紙の主文の書き出しが書けていない。
(本校 63.1 県 84.6 全国 80.6)
- ・・・表現技法についての知識が低い。
(本校 61.3 県 72.2 全国 71.6)
- ・・・歴史的仮名遣いについての理解が低い。
(本校 61.3 県 78.6 全国 76.4)
- ・・・情報を基に自分の考えが書けていない。(無解等も多い)(本校 69.4 県 77.0 全国 75.9)

重点課題・校内研修に対応した改善する指導内容及び方法

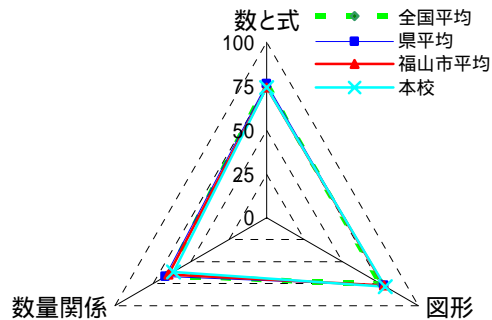
複数の資料を比較しながら読み取る問題や，グラフを使って情報を読み取り伝えたいことや考えを書く練習を取り入れる。

古典の暗唱や朗読・漢字練習や辞典を使用した活動を増やす。

文学的文章を読むとき，いろいろな表現技法の解釈の仕方や文中の人物の心の動きや感情の変化について深く考えさせるよう留意して指導する。

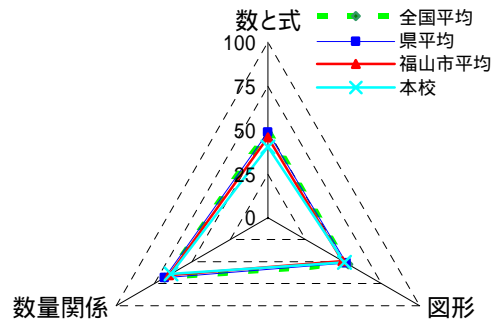
全国学力・学習状況調査正答率（A問題）

全国平均	71.9 %	県平均	73.3 %
福山市平均	71.9 %	学校平均	71.4 %



全国学力・学習状況調査正答率（B問題）

全国平均	60.6 %	県平均	60.6 %
福山市平均	57.6 %	学校平均	53.3 %



全国学力・学習状況調査に関する校内研修の内容

夏期研修において、全職員で調査問題を考察する等の研修を行った。

校内研修を受けて教科部会を定期的実施した。その中で、書く・発表するなどの表現の仕方を工夫し、指導者が手本となるような表現の仕方になるよう研修した。

市教研等で他校数学教師と交流し、校内で実施できるようなやり方を取り入れ、改善していく。

重点課題（ : 全国学力・学習状況調査）

本校の正答率は「A」は全国平均と同じであるが、「B」については下回っており、特に数量関係が弱い。

・・・数量関係において、グラフをただ単なる線としてとらえているため、線に表される数学的意味を理解する力が弱い。

・・・数と式において、文章をよく読み、その意味を理解し、立式する力が弱い。

・・・情報を分類し、筋道を立てて数学的な表現を用いることが弱い。

重点課題・校内研修に対応した改善する指導内容及び方法

グラフはただ単なる線ではなく、ある条件を満たした点の集まりだと考えさせるようにした。そのために整数部分だけでなく、変数にはちゃんと小数、分数など、連続したものになっているように指導を行う。また、具体的な事象を扱い「きれいな線」以外にも扱うようにしていく。

問題文から式をつくる場合、「あきらめる」か「説明があるまで待つ」状態の生徒が多い。説明は理解できるため、問題文を図に表させ、理解する前の段階として、イメージをつかませる指導を行う。

教師と生徒の関係において、ちゃんとした表現でなくとも理解し、許している場面がある。どの場面においても、ちゃんとした数学的表現をさせるように指導し、教師側も生徒の手本となるような表現に努めていく。